



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2008年（平成20年）10月5日号 No. 1442

目次

■ソチ投資フォーラム2008の成果	1
■クレムリン・ウォッチ:「ロシア・グルジア戦争 —経緯と影響—」	6
■エトセトラ	8
新刊『21世紀のロシア・エネルギー戦略 2008年版』／8	
■統計速報	9
2008年1～8月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／9	
■トピックス	10
カシオがロシア販社設立／10	
マツダ車をシベリア鉄道で輸送／10	
貿易経済日露政府間委員会の会合／10	

ソチ投資フォーラム2008の成果

はじめに

近年、ロシア各地で大規模な国際経済フォーラムの類が多数開催されるようになってい。最も有名なものとしては、毎年初夏に開かれるサンクトペテルブルグ国際経済フォーラムが挙げられる。また、二国間ベースの行事も数多い（日露投資フォーラムもその一つ）。

そうしたなか、毎年9月にロシア南部のクラスノダル地方ソチで開催される「ソチ国際投資フォーラム」も、きわめて注目度の高い会議となっているようだ。本年は9月18～21日に第7回ソチ国際投資フォーラム「ソチ2008」が開催された（<http://www.forumkuban.ru>）。プーチン首相が直々に広告塔の役割を果たしていたようで、それだけロシア政府の力の入れようがうかがえる。そこで、今回の速報では、現地の『エクスペルト南』誌2008年9月29日号に掲載された同フォーラムに関する論評記事を、抄訳して紹介することにする。

昨今では、大きなプロジェクトが各種フォーラムの場で発表されることも多く、こうした行事の重要性は無視できない。他方、イベントの数があまりにも多く、コストもかさむ一方なので、日本人があまり多くのフォーラムに参加するわけにもいかないだろう。したがって、せめて報道で各行事の様子をフォローしておくことが望ましい。以下の記事が、その一助となれば幸いである。